

おもしろいね！が、きっとみつかる。

シニア世代の地域デビューを応援！
～アッティーヴォ～

attivo

みやシニア
活動センター
通信 vol.17
(平成26年6月発行)

みやシニア活動センター交流会特集号



◆交流会内容◆

- ・松田新田浄水場見学
- ・上河内 梵天の湯（昼食会）
- ・栃木県防災会館見学
- ・交流会&活動発表会



地域で活躍する
先輩方をご紹介!!

去る3月14日。みやシニア活動センター主催のセカンドライフを有意義に過ごして頂くための“地域デビュー講座”にこれまで参加された方々を対象とした、交流会を行いました。この交流会は、地域デビュー講座を受けて間もない方もいれば、地域デビュー講座の卒業生で、すでに地域デビューされている方々が集う場となっており、地域で活躍するシニア世代の方々取材するにはもってこいの場！我々、シニア特派員は交流会にともに参加し、参加者が地域でどのような活動をされているか、取材をして来ました！

「attivo（アッティーヴォ）」とは、イタリア語で「活動的な、行動的な」という意味です。

参加者の方に、地域デビューのきっかけを伺いました！

★千葉 多嘉子さん (取材者：石井特派員)

陽南小学校の体育館で行われた「栃木県ママさんバレーボール連盟」の審判員講習会で、元気いっぱい力こもった会長挨拶を終えた千葉多嘉子さんに、お話を伺いました。



【健康づくり活動発表会】

千葉さんは、幼少からスポーツ万能で、結婚し子育てをしながら、昭和52年からママさんバレーボールに取り組むとともに、PTAや体育協会など、地域の健康推進活動にも活躍したスポーツウーマンのパイオニア的存在。昨年も、11月の3日間、本市を開催地に、約2千人が参加したママさんバレー全国大会の運営に携わり、県内から2百人を超えるママさんを動員し、指揮官として成功に導いたそうで、現在も、現役で大活躍されています。そこで、後輩ママさんへのアドバイスをお伺いしたところ、「家庭をしっかり堅め、家族が応援を惜しまない雰囲気を作ることが大切！」とのアドバイスを頂きました。

最後に、今後の活動についてお伺いしたところ、千葉さんは、会長職を後継者に譲り、顧問・相談役として組織や現役ママさんの助言や支援にあたり、見守っていききたいとのこと。更に、今回の交流会への参加もそうですが、今後とも、健康で、好奇心を失わず、宇都宮の歴史や多方面に知識を広めて、講座や講演会などに意欲的に挑戦していききたいとのこと、お話を伺ったこちらが励まされるインタビューでした。

★福田 知子さん (取材者：高橋特派員)

私が交流会に参加した際、移動のバスの中で隣に座った方が福田さんでした。訪問した「栃木県防災館」では積極的に大雨体験に参加し、必死に耐えている姿がとても印象的で、その後も隣同士、色々なお話を伺う機会があり、とても活動的な印象を受けたため、今回、改めて、日ごろの活動状況についてインタビューさせて頂きました。

福田さんは、「トータルマナーコーディネーター」として、主にフランスで活動されており、生け花やお茶、一般的なマナー講座を独自にレッスンされているそうです。



【保育園での指導状況】

福田さんが、マナー講座を始めたきっかけは、とあるイベントでお茶などのパフォーマンスをしたことだそうで、それから10年間、年に2～3回、毎回約1ヶ月間フランスに滞在し、マナーについて教えており、今年も6月に渡仏する予定とのこと。

その他、日本舞踊やクラシックバレー、大極拳などを習いながら、「何でも楽しく、みんな仲良くお友達になって楽しみましょう」というのが基本テーマの『研鑽会』代表者としても活動されるとともに、日光市の保育園を訪問して、お茶などの作法を取り入れながら、【あいさつ】、【我慢すること】などを身につけさせる講師としても活動され、今年で12年目になるそうです。これからも、更なる活躍が期待されるインタビューとなりました。

★小川 進さん

(取材者：肥後特派員)

今日は、宇都宮の名物自治会長小川進さんを紹介します。

昨今なかなか引き受け手がないと聞く自治会長を、小川さんは何と12年間八千代2自治会会長としてやってこられました。就任時、自治会で誰も引受け手がない状況に男気が出たとのことで、奥さんは猛反対だったそうです。「俺がやるしかない。」と決着させたのは、新しい世界に飛び込める事、そして新しい人との出会いへの期待感でした。そしてこの12年、やはり人との出会いが思い出さそうです。また、人が嫌がることを引受けることは意義のあることだということでした。



【人材かがやきセンターでの小川さん】

今後の課題として、いい住環境を作るためには自治会は必ず必要という持論を披露されました。活動の補助金、災害時の要支援制度など、自治会が動くことでスムーズにいくとのことでした。近所付き合いもでき、ボランティアの原点だという考えをお持ちでした。今では、奥様も理解し、協力されています。

趣味についてもお伺いしたところ、先ず登山。100名山も既に70の山を登山し、今年も登るそうです。読書。山本周五郎や松本清張が愛読書です。囲碁、映画鑑賞等多趣味です。また、栃木サッカークラブの松本育夫さんとは高校の同級生であり、今でも親交が深く、応援をしているそうです。

ぼちぼち後進に道を譲りたいとの事ですが、なかなか引受け手がないそうです。12年間の自治会長に心から拍手を送りたいと思います。

★栗原 敏勝さん

(取材者：古谷野特派員)

「皆さんと一緒に会し親しく話ができることが楽しいです」と昨年に続き交流会に参加された栗原さん。今も仕事を続けている現役で、その傍ら統合失調症に悩む方やその家族のために栃木県精神保健福祉会の相談員として、またこの病気に対する理解を深め偏見を無くそうと様々な活動にも取り組んでいます。

活動の場の県精神保健福祉センターでお話を伺いました。「統合失調症とは考えや気持ちが変わりやすくなる状態が続く精神疾患、原因は脳の機能にあると考えられ、本人も気づかず、家族も変だと思いながら病状が進んでしまう事が多いのです。」「約100人に一人かかるといわれ決して特殊な病気ではないのですが、世間体からか隠そうとする方も多いのです。しかし治療で回復出来るのです。病気に悩む人やその家族の方たちの、相談相手となり、共に頑張っていくと語ってくれました。



【保健福祉相談員としての活動状況】

ご努力が実り、この病に対する一層の理解が深まり隠さなくてもよい社会になることを切に願います。次の交流会にも是非参加され日頃のご活躍の状況やご苦労話などを伺いたいです。なお、統合失調症等で悩んでいる方は、気兼ねなく栃木県精神保健福祉会（県精神保健福祉センター内 Tel028-673-8404）へ相談くださいとのことでした。

★松島 栄次さん

(取材者：清水特派員)

交流会のメインとなる活動発表会の自己紹介では、一番最初に「ミスターロッキーこと松島です。」と名乗り、皆を煙にまき、その話しぶりの巧みさと多趣味に、参加者全員が驚かされていました。

今回の取材にあたり、ご自宅にお伺いすると、待ってましたとばかりに笑顔で出迎えを受けました。

インタビューは、庭に張り出したテラスで明るい陽差しの田園風景を眺めながらの取材で、お互いに気が楽になり話しが弾み、交流会の活動発表会での自己紹介にあったように、マジックやギター、カラオケ、ヨガ、ストレッチ体操などなど、月曜日から

週末まで、スケジュールいっぱいの、趣味とボランティアのオンパレードな日々に、またまた、驚かされました。

そんな多趣味な松島さんの活動のきっかけについてお伺いしました。松島さんは、専門学校卒業後の20才から大手の運輸関係の会社に就職、65才の定年退職日まで45年間、会社一筋のサラリーマン生活を送っていたところ、退職まであと2年という時に、先輩から「趣味を持ち、地域のイベントに参加しないと定年以降厳しい生活になるぞ！」とアドバイスを受け、このアドバイスをきっかけに、カラオケやギター、マジック教室に通い始め、会社以外の人とも交遊が始まったそうです。

現在は、マジック、ストレッチ体操、ヨガなど、ボランティアで老人ホームや幼稚園等を訪問して得意芸を披露しているほか、地元の小学生の交通パトロール、公園・河川等の草刈りや清掃にも参加しているとのこと。さらに、忙しい活動の合間、御自身の健康づくりにと、自転車で1・2時間程、此処其処を駆け廻り、気を配っているそうです。

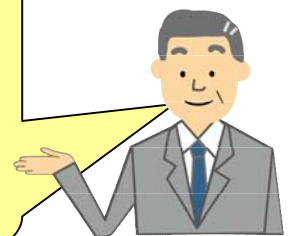
松島さんは、現在、「マジック1, 2, 3」に所属するほか、宇都宮市文化協会会員としても活動中で、会報誌に「人生を笑いで楽しく、ボランティアで沢山の仲間たち」と題して寄稿されており、その才も確たるもの。願わくば、取材した私自身も、松島さんのように、毎日を笑って楽しく生きていきたいと思いました。



【自宅で寛ぐ松島さん】

《事務局からのお願い》

- ・ 「みやシニア活動センター通信」をご覧になった、ご意見・ご感想をお聞かせください。今後の参考とさせていただきます。
- ・ 地域で活躍するシニア世代の方の情報がありませんでしたら、みやシニア活動センターまでお知らせください。
- ・ 事務局では、「みやシニア活動センター通信」に掲載するシニア向けの活動などの記事の取材や紙面の編集をお手伝いいただける「シニア特派員」も募集しています。ご意見・ご感想・シニア特派員に関するお問合わせは下記までお願いします。



○ 発行／編集 みやシニア活動センター（宇都宮市 保健福祉部 高齢福祉課）

住所：宇都宮市中央1丁目1-15 宇都宮市総合福祉センター8階

電話：028-639-8585 ファクス：028-639-8575

ホームページ：<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp>